

# 事業シート(令和8年度予算)

23\_環境政策課\_1

事業名 担当課	21800 環境都市推進事業費 森林・環境政策部 環境政策課	予算 内線 2283	会計 款 項 目	1 一般会計 2 総務費 1 総務管理費 19 環境政策費	重点戦略 ポイント 分野別 政策分野 4 森林・環境・エネルギー 施策分野 (3) 自然環境・温暖化対策	総合計画 市長公約	根拠計画 環境基本計画、地球温暖化対策地域推進計画	環境基本計画、地球温暖化対策地域推進計画

## 1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地球環境の保全と市民の環境意識の向上及び具体的な行動や参画を促す。	概要	・環境審議会の開催 ・高市自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の開催 ・市民等による環境の保全や自然エネルギー利用の普及啓発 ・脱炭素先行地域づくり事業の促進		

総合計画等	主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
自然エネルギーによる電力の創出量(年間)	未確定		90,000MWh	
「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ地球環境を守る取組が進んでいる」と感じている市民の割	43.1%			↗

## 2.事業の実施結果等(Do)

新規・拡充	歳出事業費 (職員人件費を除く)	R6		R7			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	
		470,180	109,443	548,433			
特定財源	国費（脱炭素先行地域づくり事業補助金10/10）	469,000	108,699	539,000			
	県費（）						
	その他（）						
一般財源		1,180	744	9,433			
	主な事業内容						
	環境審議会等の開催	615	331	478			
	脱炭素先行地域づくり事業補助金	469,000	108,699	539,000			
	快適環境づくり市民会議	310	158	310			
	電気自動車用急速充電器の運営			8,000			
	環境政策アドバイザー		180	390			

※下段は主な事業内容を抜き出したもので、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

## 3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・脱炭素先行地域づくり事業の実施(小水力発電所 測量・設計5箇所ほか) ・環境審議会の開催(3回) ・自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の開催(1回) ・環境政策アドバイザーからの助言(1回)	

評価等	・脱炭素先行地域づくり事業の実施に際し、5年間の全体計画を精査し計画額を変更したうえで、1年目を予定通り実施することができた。 ・環境審議会の審議によって、環境基本計画を策定することができた。 ・自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の審議によって、脱炭素先行地域づくり事業の課題や再生可能エネルギーの新たな支援制度への意見をいたくだくことができた。 ・環境政策アドバイザーから新ごみ処理施設の水素活用等の助言をいたくだくことができた。	

次年度以降の考え方 (担当課)	・環境基本条例及び環境基本計画の基本理念、将来像の実現に向けた取り組みを推進する。 ・2050年全域ゼロカーボンを目指して、脱炭素先行地域づくり事業による市内の脱炭素化に取り組む。	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

4.令和8年度予算編成(Action)		(千円)
R8予算	実施計画額	966,400
要求額(d)	財務部査定額	966,400
970,057		421,624
968,488		429,488
1,569		△ 7,864
要求額	説明	
593		
968,488		
307		
409		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・快適環境づくり市民会議の活動や自然エネルギー利用と普及啓発の推進に必要な経費を計上 ・脱炭素先行地域として小水力発電所の整備等に対する支援に必要な経費を計上	

財務部 査定の考え方		

市長査定  
の考え方

# 事業シート(令和8年度予算)

23\_環境政策課\_2

事業名 担当課	21820 自然エネルギー普及促進事業費 森林・環境政策部 環境政策課	予算 内線 2283	会計 款 項 目	1 一般会計 2 総務費 1 総務管理費 19 環境政策費	重点戦略 ポイント 分野別 政策分野 4 森林・環境・エネルギー 施設分野 (3) 自然環境・温暖化対策	総合計画 市長公約	根拠計画 環境基本計画、地球温暖化対策地域推進計画

## 1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・自然エネルギーの利用による暮らしの豊かさを実感できるまちづくりを推進する。	概要	・市民や事業者による木質バイオマスなどの自然エネルギー設備の導入を促進する。

総合計画等	主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
自然エネルギーによる電力の創出量(年間)	未確定		90,000MWh	
二酸化炭素(CO2)削減量(年間)	未確定		12.4万トン	

## 2.事業の実施結果等(Do)

新規・拡充	主な事業内容	R6		R7			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	
		31,020	17,936	23,190			
特定財源	国費( )						
	県費( 太陽光発電設備等設置事業費 10/10 )	19,400	11,221	13,900			
	その他( 飛驒高山ふるさと基金繰入金 )	6,000	5,000	4,000			
一般財源		5,620	1,715	5,290			
新規・拡充	主な事業内容						
	木質バイオマス活用促進事業補助金	8,000	4,474	8,000			
	自然エネルギー活用支援	220	30	220			
	自家消費型太陽光発電設備等導入補助金	19,400	11,221	13,900			
	指定避難所太陽光発電等設備修繕等	600	575	1,000			
	未利用間伐材の搬出促進	2,800	1,636				
○	省エネ診断に対する助成						

※下段は主な事業内容を抜き出したもので、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

## 3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペレットストーブ等導入台数 45台</li> <li>・積まマイカーによる未利用間伐材収集量 220t</li> <li>・自家消費型太陽光発電設備等導入件数 21件</li> </ul>
------	--

## 5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域主導による自然エネルギー活用に対する支援に必要な経費を計上</li> <li>・自家消費型太陽光発電設備等導入に対する支援に必要な経費を計上</li> <li>・事業者による省エネ診断に対する助成に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木の駅プロジェクトと積まマイカーの運行によって地域の未利用材を木質燃料として利用するエネルギーの地産地消を促進することができた。</li> <li>・地域における自然エネルギー導入に向けて、研修会を開催した。</li> <li>・自家消費型太陽光発電設備等導入補助金については、5月から募集を開始し、21件(前年度と同数)の実績であった。</li> </ul>
次年度以降の考え方 (担当課)	<p>・市内のペレット工場やチップ工場から製造される木質燃料を活用し、木質バイオマスの需要拡大を図る。</p> <p>・太陽光発電設備や蓄電池の導入により地域における自家消費型エネルギー活用の促進を図る。</p> <p>・第二次高山市地球温暖化対策地域推進計画に基づき、再生可能エネルギーの導入や省エネルギー、気候変動への適応につながる取り組みを進める。</p>

次年度以降の考え方 (担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定
--------------------	--	---

財務部 査定の考え方	
市長査定の考え方	

# 事業シート(令和8年度予算)

23\_環境政策課\_3

事業名 担当課	21850 生物多様性保全推進事業費 森林・環境政策部 環境政策課	予算 内線 2283	会計 款 項 目	1 一般会計 2 総務費 1 総務管理費 19 環境政策費	重点戦略 ポイント 分野別 政策分野 4 森林・環境・エネルギー 施設分野 (3) 自然環境・温暖化対策	総合計画 市長公約	根拠計画 環境基本計画、生物多様性ひだかやま戦略

## 1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・その土地本来の生態系の保全や里山の保全と利用の推進などにより、生物多様性の保全を図る。	概要	・自然環境学習や山の自然学校による自然保護の必要性の啓発や自然と親しむ機会の提供 ・特定外来生物に関する知識の普及や防除活動の実施			

総合計画等	主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
特定外来生物防除活動団体数	4団体		-	
特定外来生物防除活動参加者数(延べ人数)	149人		-	

## 2.事業の実施結果等(Do)

新規・拡充	歳出事業費 (職員人件費を除く)	R6		R7			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	
		9,360	6,540	9,740			
特定財源	国費( )						
	県費(生物多様性保全推進事業費1/2 )	2,570	2,433	2,500			
	その他( )						
一般財源		6,790	4,107	7,240			
新規・拡充	主な事業内容						
	自然環境学習(五色ヶ原の森委託分)	2,940	992	3,220			
	特定外来生物の防除委託	4,850	4,763	4,760			
○	いのちの森づくり	590	479	830			

※下段は主な事業内容を抜き出したもので、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

## 3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・自然環境学習の開催 5校 235人 ・山の自然学校の開催 3回 35人 ・特定外来生物講習会、出前講座の開催 7回 106人	

評価等	・市内小中学校を対象として乗鞍山麓五色ヶ原の森等を活用した自然環境学習を行い、地域の自然とのふれあいの場を提供した。 ・特定外来生物防除講習会や出前講座により、民間団体や町内会の自主的な防除活動につながった。 ・親子で参加できる山の自然学校を開催し、自然環境に対する意識の向上を図った。	

次年度以降の考え方 (担当課)	・引き続き自然環境学習の機会を提供するとともに、市民による主体的な生物多様性保全の取り組みの拡大を図る。	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定	次年度以降の考え方 (担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

## 5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	事業実績	

評価等	評価等	

次年度以降の考え方 (担当課)	次年度以降の考え方 (担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

4.令和8年度予算編成(Action)		(千円)	
R8予算		実施計画額	
要求額(d)		財務部査定額	市長査定額
11,726			1,986
2,600			100
9,126			1,886
要求額		説明	
3,218			
5,200			
2,328			

※入札に影響するため公開に適しないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・いのちの森づくりに必要な経費を計上	

財務部 査定の考え方		

市長査定  
の考え方

# 事業シート(令和8年度予算)

23\_環境政策課\_4

事業名 担当課	62300 自然公園等管理事業費 森林・環境政策部 環境政策課	予算 内線 2283	会計 款 項 目	1 一般会計 6 商工費 2 観光費 3 自然公園費	総合計画 分野別	重点戦略 ポイント 政策分野 施策分野	方向性 4 森林・環境・エネルギー (3) 自然環境・温暖化対策	根拠計画 市長公約	環境基本計画

## 1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域特有の自然資源や希少動植物、自然公園等の保全と利用の推進などにより、自然環境の保全と活用を図る。	概要	・国立公園、県立自然公園等における保護と適正な利用の推進 ・乗鞍山麓五色ヶ原の森や既設の登山道、自然公園施設の適正な利用と利用者の安全確保の推進

総合計画等 「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ地球環境を守る取組が進んでいる」と感じている市民の割	R6実績 43.1%	R7実績	R11目標
			↗

## 2.事業の実施結果等(Do)

新規・拡充	歳出事業費 (職員人件費を除く)	R6		R7			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	
		167,688	132,395	127,744			
特定財源	国費 ( ) 県費 ( 山岳環境保全施設整備事業費 45/100、乗鞍スカイライン道路バトーロール事業費10/10 等 ) その他( 飛驒高山ふるさと基金繰入金、宿泊税 等 )						
	一般財源	18,263	13,208	18,850			
	115,365	97,127	90,394				
	主な事業内容						
	乗鞍山麓五色ヶ原の森の保全・管理	65,211	40,567	59,451			
	乗鞍スカイラインの適正利用の推進	34,625	27,487	35,905			
	登山道管理	15,880	14,586	16,460			
	県中部山岳国立公園活性化推進協議会負担金	11,500	9,804	11,500			
○	「山の日」記念全国大会開催負担金						
○	御嶽山国定公園指定記念事業						
○	信飛トレイン事業						

※下段は主な事業内容を抜き出したもので、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

## 3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗鞍山麓五色ヶ原の森の入り込み 2,986人</li> <li>・乗鞍スカイラインの入り込み推計 38,007人</li> <li>・岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会による活性化事業や中部山岳国立公園指定90周年記念事業の実施</li> </ul>
------	---

評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗鞍山麓五色ヶ原の森については、積極的な情報発信等により多くの入込を確保するとともに、各種研修の実施によりガイドの質の向上に努め、高い満足度を得ることができた。</li> <li>・国立公園満喫プロジェクトや岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会など、国、県、関係団体等との連携により、地域活性化に向けた取り組みの検討や各種事業を実施し、地域の魅力の向上を図ることができた。</li> <li>・自然環境保全と地域振興のバランスを考慮した事業を推進する必要がある。</li> </ul>
-----	---

次年度以降の考え方 (担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、乗鞍スカイラインや乗鞍山麓五色ヶ原の森について、エコツーリズムの視点による利用促進のあり方に関する検討を進める。</li> <li>・中部山岳国立公園及び周辺地域については、中部山岳国立公園南部地域利用推進協議会や岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会、飛騨山脈ジオパーク推進協議会のほか、地元関係団体等と連携を図り、自然保護と地域活性化の一貫的な取組みを推進する。</li> </ul>
--------------------	---

## 5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
------	--

評価等	
-----	--

次年度以降の考え方 (担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定
--------------------	--	---

R8予算	実施計画額	104,600	
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減(d)-(c)
141,290			13,546
18,738			△ 112
122,552			△ 18,500
要求額	説明		
51,444			
35,675			
17,154			
11,500			
10,000			
1,190			
10,000			

※入札に影響するため公開に適しないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗鞍山麓五色ヶ原の森の登山道、山小屋等の修繕に必要な経費を計上</li> <li>・乗鞍スカイラインの保護と利用に必要な経費を計上</li> <li>・登山道の維持、安全確保等に必要な経費を計上</li> <li>・中部山岳国立公園、県立自然公園等の活性化の推進に必要な経費を計上</li> <li>・「山の日」記念全国大会の開催に必要な経費を計上</li> <li>・御嶽山国定公園指定記念事業に必要な経費を計上</li> <li>・信飛トレイン事業に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の考え方	
---------------	--

市長査定 の考え方	
--------------	--